

通番	意見の概要	本市の考え方
1	<p>●南浦支所の業務は北浦総合支所で代行すれば良い。 利用頻度がかかなり少ないのに職員を配置して税金の無駄遣いだと思っていた。</p>	<p>◆これまで南浦支所では住民票等の証明書交付等の事務を行ってきましたが、その事務については、北浦総合支所よりも近く南浦地区の方々にとって便利な場所と考えられる熊野江郵便局に委託することで、効率的な行政サービスを維持したいと考えています。なお、この方針案については、これまで熊野江町の住民の方々及び南浦地域の区長の方々を対象に説明会を行いました。特に異論はなかったところです。</p>
2	<p>●高齢者しかいないのに、遠くなったら困ると思う。経費削減はわかるが、利用する側としては不便になり、若者がいなくなる悪循環以外のなにものでもない。</p>	<p>◆これまで南浦支所では住民票等の証明書交付等の事務を行ってきましたが、南浦地区の方々にとって便利な場所と考えられる熊野江郵便局で、南浦支所と同様の業務を行う考えですので、支障はないものと考えております。このことについては、既に、熊野江町の方々に対して説明会を行い、了承をいただいております。</p>
3	<p>●支所の廃止は、災害時や災害警戒時の連絡網や詰め所運営について気になる。避難所運営や放送など災害対応の行政空白地帯を招く恐れがあり、消防や警察とのすり合わせも必要ではないか。</p> <p>●拠点を廃止することによっては、かえってより緊密な住民との連携が必要になり、見えないコストの増大を招く恐れがないか。例えば、区長会など自治会への事実上の入会強制や、消防団やゴミ清掃における強制参加、不参加による罰金制度の独自ルール化の進行が全国各地で起き、社会問題化している。新しい市民が寄り付かず、一度根付いたトラブルは根深く、その対策に追われることとなる。</p> <p>●行政拠点がなくなることによって、細やかな市民サービス、例えば、小さな苦情、相談、心配事をする場所がなくなったりしないか。それがひいては土砂崩れの予兆やインフラの劣化を見逃すことにならないか。</p>	<p>◆もともと南浦支所は住民票の交付などの事務を行っており、防災事務や地域振興等事務は扱っていませんが、今回の方針案はあくまでも現在扱っている支所の事務を、南浦地区の方々にとって便利な場所と考えられる熊野江郵便局に扱っていただくというものであり、災害時の対応などが現在より手薄になることはありません。災害時の対応については、台風等の風水害における指定避難場所を南浦中学校とし、避難所開設時には市職員を配置しております。また、避難情報等については、防災行政無線を使った放送を行うほか、災害情報メールや防災情報アプリ「防災のべおか」で情報発信を行っております。</p> <p>◆また、地域との連携については、地域と協働した取り組みを推進するため、本市独自の地域担当職員制度を設けるなどにより、地域の課題解決を図っているところです。</p> <p>◆なお、これまでに支所に寄せられたご相談としましては、月に数件ほどあり、内容は、プレミアム商品券や新型コロナワクチン、マイナポイントに関するもの等ですが、それらについては、市の担当課に伝え、迅速に対応していますので、今後熊野江郵便局に寄せられるご相談等についても、スピーディーに市に伝えていただくよう郵便局側と協議してまいります。土砂崩れやインフラ劣化については、土砂災害の危険性がある区域の各家庭にハザードマップを配布しておりますが、今後も情報を収集する等、地域の状況の把握に努めてまいります。</p>